慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	三田商学研究第59巻自第1号至第6号総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2017
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.59, No.6 (2017. 2) ,p.105- 106
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20170200-0105

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究　第59巻　自第1号 至第6号　総目次

論　文

		号	頁
会計の理論と制度と実践 —— 会計学の基本問題（9）——	友岡　賛	1	1
処理規約の規定要因（2） —— 利益観・企業の経済活動の態様・計算方式を巡って ——	笠井昭次 牧厚志	1	15
1000兆円の政府負債 —— 経済学と最高裁判所判例からの考察 ——	六車明 西川理恵子	1	31
倒産コストモデルの再検討	辻幸民	1	49
国際会計の行く末 —— 会計学の基本問題（10）——	友岡　賛	2	1
量的緩和，マイナス金利政策の財政コストと処理方法	深尾光洋	2	15
処理規約の規定要因（3） —— 利益観・企業の経済活動の態様・計算方式を巡って ——	笠井昭次	2	31
会計（学）の基礎性の不易性 —— 会計学の基本問題（11）——	友岡　賛	3	1
処理規約の規定要因（4） —— 利益観・企業の経済活動の態様・計算方式を巡って ——	笠井昭次	3	15
体制転換と金融システムの構造変化（Ⅱ） —— チェコスロバキアの場合 ——	赤川元章 樋口美雄	3	33
日本の所得格差と所得変動 —— 国際比較・時系列比較による動学的視点 ——	石井加代子 佐藤一磨	3	67
会計の要件 —— 会計学の基本問題（12）——	友岡　賛	4	1
日本の製造大企業における高品質と低コストの両立 —— 原価企画を中心とした探索的分析 ——	吉田栄介 徐智銘	4	13
企業統治と経営者報酬・従業員給料の公正な分配	黒川行治	4	27
「会計責任」の意義 —— 会計学の基本問題（13）——	友岡　賛	5	1
親の所得と子どもの数の関係についての経済分析 —— パネルデータを用いた実証分析 ——	何　芳	5	13
私的カフェ論　その1	伊藤　眞	5	31
情報会計の盛衰 —— 会計学の基本問題（14）——	友岡　賛	6	1
私的カフェ論　その2	伊藤　眞	6	15
企業の道徳的責任が従業員の効率性に与える影響 —— 顕在的・潜在的従業員と取引コストの観点から ——	曾　広桃	6	41
管理会計成熟度と組織業績との関係性 —— 製造業における探索的分析 ——	吉田栄介 徐智銘	6	73

研究ノート

法制度からみる非支配株主持分の地位と会計処理に関する一考察	澤井康毅	5	57
貸方区分議論の整理と検討	木村太一	5	75

利益計算と貸方区分……木村太一　6・91

資　料

エジプト企業のイノベーションと生産性の規定要因
——世界銀行企業データの分析より——……王皓瑩　廖舒忻　丁建平　濱岡豊　2・51

研究開発に関する調査2015
——9年間の変化傾向と単純集計の結果——……郷香野子　濱岡豊　4・45